

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 11 月 2 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/2 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.8 m ³ /h	30.8	106.1 kPa abs	A系： 1.18	vol %
		給水系：約 2.9 m ³ /h			B系： 1.19	vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.5 m ³ /h	43.5	4.86 kPa g	A系： 0.05*2	vol %
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.04	vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.5 m ³ /h	43.6	0.22 kPa g	A系： 0.19*2	vol %
		給水系：約 1.8 m ³ /h			B系： 0.19	vol %

*1 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

*2 電源停止作業に伴いデータ欠測のため、直近で計測できている 10/31 5:00 時点の数値を記載。

【1号機】・11/2 16:35 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.8m³/hから約 3.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.7m³/hから約 2.0m³/hに調整。

【2号機】・11/2 6:40 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.6m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.2m³/hから約 4.8m³/hに調整。

【3号機】・11/2 6:40 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.6m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.7 m³/hから約 4.5 m³/hに調整。

・11/2 16:35 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.7m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.6m³/hから約 4.5m³/hに調整。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/2 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	21.0
2号機	循環冷却システム	停止中	29.6
3号機	循環冷却システム	運転中	18.4
4号機	循環冷却システム	運転中	26

*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルへヒドラジンの注入を適宜実施。

【2号機】・10/30 15:30 所内電源停止に伴い、使用済燃料プール代替冷却系を停止。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	10/30 10:09 ~ 11/2 9:23 移送実施
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	10/26 12:18 ~ 11/2 9:33 移送実施 11/2 14:17 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (11/2 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
 - H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
 - H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
 - H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
 - H24/10/23～ 1号機サプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を開始。サプレッションチェンバ内の水素濃度を推定2%程度まで低くするために、連続封入期間は1ヶ月程度を予定。
 - H24/11/2 所内電源切替作業に伴い、1号機原子炉格納容器およびサプレッションチェンバ内への窒素ガス封入を一時的に停止し、その後再開。それぞれの停止時間は、原子炉格納容器が同日 9:18～同日 9:46、サプレッションチェンバが同日 9:02～同日 9:52。なお、原子炉圧力容器への窒素ガス封入は停止していない。
 - H24/11/2 9:25 頃 所内の電源システムの異常を知らせる「所内共通M/C*1 1A母線地絡」および「所内共通M/C2A母線地絡」警報が発生。現場を確認したところ、作業中に所内共通M/C1Aと所内共通M/C2Aをつなぐ電源ケーブルに傷を付けたことを同日 10:00 頃に確認。また、ケーブル損傷部より煙が出ていることが確認されたことから、同日 10:25 に消防署に連絡。その後、当該ケーブルの通電を停止するための準備を進め、同日 10:49、当該ケーブルの通電を停止。これにより、同日 10:51、発煙の停止を確認。同日 11:00 から同日 11:23 にかけて、所内共通M/C 1Aの再受電および各設備*2の再起動を順次行い、再起動後の各設備の運転状態に異常はないことを確認。また、同日 11:38、1～4号機各プラント設備、滞留水移送設備、水処理設備、共用プール設備、5・6号機各プラント設備の運転状態に異常のないことを確認。その後、消防署による現場確認の結果、同日 13:37、「火災ではない」と判断される。なお、本事象によるけが人は発生しておらず、現時点でモニタリングポストの値に有意な変動はなく、プラントへの影響も確認されていない。原因については、現在、調査中。
- *1 M/C:電源盤
- *2 所内共通M/C1Aからの受電していた窒素ガス分離装置Aならびに1号機原子炉格納容器および1号機サプレッションチェンバへの窒素封入を所内共通M/C1Aの受電停止に伴い一時的に停止

以上